

# 事業報告

令和元年度は、少年非行や犯罪のない安全で安心な住みよい地域社会を目指し、「みんなで作ろう安心の街」を合言葉に、静岡県警察、地方自治体、地区防犯協会、防犯ボランティア等と連携して、防犯活動への参加意識の醸成、防犯意識や防犯諸対策向上のための諸活動を次のとおり推進した。

## 第1 事業の内容

### 1 防犯活動推進事業

#### (1) 防犯功労者(団体)の表彰及びポスター・標語・青パト写真コンクール ア 防犯功労者(団体)表彰

次の表彰を行った。

実施年月日	表 彰 内 容
R元. 6. 5	令和元年度静岡県防犯功労団体 (21 団体)
9. 2	令和元年度静岡県防犯功労者 (1 人)
9. 6	永年勤続表彰 (1 人)
9. 26	令和元年度全防連防犯功労者 (金章 2 人、銀章 4 人、銅章 12 人)、功労団体 (1 団体)、功労ボランティア団体 (1 団体)
10. 11	令和元年度関防連防犯功労者 (10 人) 功労団体 (2 団体) 特別功労者 (2 人) 特別功労団体 (2 団体) 令和元年度静岡県防犯功労者 (35 人)
計	27 団体 67 人

なお、全防連防犯功労者表彰(金章)の2人及び団体表彰の代表者1人は、令和元年10月23日、県警本部長に対する受賞報告を行った。

#### イ ポスター・標語・青パト活動写真コンクール

小・中・高校生等を対象に「子供・女性の犯罪被害防止」「暴力団排除の徹底」の2課題に対し、ポスター・標語及び青色回転灯装備車の活動中の写真を公募したところ、ポスター83点、標語912点、青パト写真48点の応募があり、審査の結果、優秀作品等24点と11校の応募優秀校を表彰した。

また、優秀作品については、(公財)全国防犯協会連合会・警察庁主催の全国コンクールに応募した結果、標語の部で、全国1万9,817点の中

から当県の応募作品が最優秀に選出された。

なお、(公財)全国防犯協会連合会で作成した全国コンクール入賞作品を一括掲載したポスターとチラシを関係団体等に配布して、地域安全運動の広報に活用し防犯意識の高揚に努めた。

## (2) 各地区防犯協会との連携と指導育成

### ア 地域安全ニュースコンクールの開催

令和元年9月6日、静岡市内において、各地区防犯協会が定期的に発行している広報紙(誌)の情報発信活動の向上を図るため「地域安全ニュースコンクール」を開催し、優秀作品2点の作成者を表彰した。

### イ 防犯指導員研修会の開催

同日、静岡市内において、県下全体を対象とした「防犯指導員研修会」、令和2年2月には、東・中・西部において「ブロック別防犯指導員研修会」をそれぞれ開催し、地域安全活動の効果的推進方策や地区防犯活動の運営上の問題点等について協議・意見交換を実施した。

### ウ 防犯指導員の保険加入

防犯指導員が日常的に実施している街頭活動や防犯教室等において安心して活動ができるよう、活動に起因する事故に備えた賠償責任保険に継続加入した。

### エ 青色防犯パトロール車の配車の斡旋等

令和元年度分として、(公財)全国防犯協会連合会に対し配車申請し、本年度新設の浜松西警察署管内防犯協会へ配車した。

## (3) 少年の健全育成と非行防止対策の推進

### ア 青少年の非行問題に取り組む全国強調月間等への支援

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び11月に実施された「子供・若者育成支援強調月間」では、「丘の子どもたち」など少年非行に関する冊子やチラシを配布するなど、少年非行防止対策を支援した。

### イ 少年ボランティア団体に対する協力支援

少年非行防止と健全育成を推進している少年警察ボランティア等の行う諸活動を支援した。

### ウ 子供の犯罪被害防止

スマートフォンの普及に伴い、青少年が自己の裸を自撮りし、その画像を安易に送る被害等を防止するため、インターネット起因による子供の性被害防止活動『しずおかポリス“ふじネット”』の防犯ポスターを作成・配布した。

また、教材用に作製したDVD(子供の犯罪被害防止)の貸し出し、チラシ(いかのおすし)の作成・配布を行った。

#### エ 薬物乱用防止活動の推進

県警察少年サポートセンターを始め関係機関・団体等と連携し、薬物の実態と有害性を訴える広報活動を展開し、危険ドラッグ等薬物を追放する社会環境づくりを推進するとともに、各地区防犯協会や少年サポートセンター等が管内の中・高校生を対象に開催した「薬物乱用防止教室」に対し、薬物乱用防止のDVD等の貸出しをしてその活動を支援した。

### (4) 各種防犯団体等との連携と地域安全活動に対する協力支援

#### ア 防犯フェアの開催

令和元年10月16日、浜松アリーナ(浜松市中区和田町)で開催された、「大相撲浜松出世場所」において、県警・県西部地区ボランティア団体・浜松東警察署管内防犯協会等と合同で、土俵上での『懸賞幕』の掲出、場内アナウンス等による特殊詐欺防止を中心とした防犯広報を実施した。

#### イ 防犯ボランティア地域交流会の開催

防犯ボランティア活動の活性化と重層的ネットワークを構築するため、令和元年11月13日、浜松市東区内の浜松市総合産業展示館において、県西部地区のリーダーとして活躍している防犯ボランティア等約230人を招請して、「防犯ボランティア地域交流会」を開催した。

交流会では、(公財)浜松国際交流協会 浜松市外国人学習センター職員による講演に引き続き、防犯ボランティア5団体の代表者からの活動報告を聴取し、防犯リーダーの育成を図った。

#### ウ 地域安全推進員に対する活動支援

地域安全推進員の活動が効果的に推進できるよう「防犯活動マニュアル」、「活動の手引き」、「活動事例集」を配布するとともに、各地区の要望に沿ってチラシや防犯グッズ等を作成・配布するなど、活動資器材の支援を行った。

また、地域安全推進員が安心して活動に専念できる環境を整備するため、「防犯協会団体総合保険」(ボランティア保険)に加入(更新)した。

更に、ヤング防犯ボランティア団体「しずおか・ぴーす」に対しても保険に加入した。

#### エ 暴力追放・銃器根絶運動の推進

(公財)静岡県暴力追放運動推進センター及び県警察と連携し、暴力団の被害を受けやすい風俗営業者の業界に対し、風俗営業所等管理者講

習の機会において、暴力団対策の講義及び資料配布を行って暴力団排除意識の醸成に努めた。

また、(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター及び県警察と共催で、令和元年 11 月 26 日、富士宮市内の「富士宮市民文化会館」において、県民約 1,100 人が参加しての、「第 37 回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会」を開催し、「暴力団追放三ない運動プラス 1」の実践など暴力団と銃器根絶の機運の醸成に努めた。

更に、暴力追放を課題としたポスター・標語を公募し、優秀作品を表彰した。

#### オ 犯罪被害者対策への協力支援

NPO 法人静岡犯罪被害者支援センターと連携して、犯罪被害者支援活動への積極的な参加と支援を行った。

当連合会機関誌「静岡連だより」でも、広報文を掲載した。

#### カ 関係機関・団体との連携

次の会議や行事等へ参加・出席して関係機関・団体との連携を強化した。

- ・ しずおか防犯まちづくり推進協議会幹事会 (5/8)
- ・ 社会を明るくする運動静岡県推進委員会 (5/8)
- ・ NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター総会 (5/14)
- ・ 一般社団法人静岡県都市開発協会総会 (5/16)
- ・ POB 反社対策連絡協議会 (5/17)
- ・ 静岡県遊技業協同組合総会 (6/6)
- ・ 静岡県コミュニティづくり推進協議会総会 (6/11)
- ・ しずおか防犯まちづくり県民会議総会 (6/11)
- ・ 金融機関 (POB) ネットワーク会議 (6/17)
- ・ 静岡県地域安全推進員連絡協議会研修会 (6/18)
- ・ 関東防犯連絡協議会総会及び地域安全研修会 (6/26)
- ・ 全国防犯協会専務理事・事務局長会議 (7/4)
- ・ 静岡県青少年環境整備審議会全体会 (9/6)
- ・ 全国地域安全運動中央大会 (9/26)
- ・ 静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会 (11/26)
- ・ 静岡県犯罪被害支援講演会 (11/29)
- ・ 静岡県青少年環境整備審議会全体会議 (1/30)
- ・ 防犯責任者専門セミナー (2/7)

#### (5) 静岡県・静岡県警察との連携による犯罪抑止のための広報啓発活動

ア しずおか防犯まちづくり県民会議の行う諸施策の推進

「しずおか防犯まちづくり県民会議」の幹事団体として、静岡県と連携して、小冊子、ポスター、チラシ等を作成配布して広報啓発活動を推進した。

イ 静岡県警察が行う諸施策の推進

県警察が行う各種の犯罪抑止のための強化期間（振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺撲滅に向けた取組「しずおか関所作戦」、万引き防止、痴漢被害防止、年末特別警戒等）や諸対策に対して、広報用チラシ、小冊子、看板・懸垂幕、DVD等を作成、配布するなどして広報啓発活動を推進した。

(6) 地域安全運動等県民の防犯意識の高揚

ア 防犯思想の普及啓発

侵入犯罪や街頭犯罪に関する情報と対策を各種のチラシや「静防連だより」、「ホームページ」等で提供し、防犯意識の高揚を図った。

また、防犯広報紙(誌)、小冊子、ポスター等の発行・斡旋配布について、次のとおり推進した。

○ 広報紙(誌)

- |                     |         |
|---------------------|---------|
| ・ 機関紙「静防連だより」(年間4回) | 65,600部 |
| ・ 広報誌「安心な街に」        | 1,776冊  |
| ・ 広報誌「家庭と防犯」        | 93冊     |

○ 防犯小冊子(本)

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| ・ 防犯ボランティア活動マニュアル(実務) | 30冊    |
| ・ 地域安全活動事例集           | 3,860冊 |
| ・ 丘の子どもたち             | 1,200冊 |
| ・ 市区町別にみた平成30年の犯罪     | 190冊   |
| ・ 住居侵入犯罪最強防犯読本        | 3,000冊 |

○ 防犯リーフレット

- |             |      |
|-------------|------|
| ・ 風俗環境浄化活動用 | 600枚 |
|-------------|------|

○ 防犯チラシ

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| ・ 自転車盗難防止                  | 43,000枚 |
| ・ 振り込め詐欺被害防止(これが架空請求詐欺の手口) | 75,000枚 |
| ・ 小さな子供の安全安心(いかのおすし)       | 36,000枚 |
| ・ 全国地域安全運動用                | 30,000枚 |

○ 防犯ポスター

- |                  |      |
|------------------|------|
| ・ しずおかポリス“ふじネット” | 400枚 |
|------------------|------|

- ・ 防犯タイヤアップポスター「ヒックとドラゴン」 450 枚
- ・ 全国地域安全運動用 500 枚
- ・ 年末特別警戒用（大・小） 3,282 枚
- 防犯懸垂幕・横断幕
  - ・ 全国地域安全運動用（呉服町名店街・静岡駅地下道） 2 枚
  - ・ 年末特別警戒（呉服町名店街・静岡駅地下道・パルシェ） 3 枚
- DVD
  - ・ 新規購入（風俗営業所等管理者講習用） 4 本
  - （防犯教室等貸し出し用） 4 本
  - ・ 防犯教室等への貸し出し 13 地区、137 回、13,720 人
- マスコミ
  - ・ SBS ラジオ 年末特別警戒広報（特殊詐欺防止）  
12 月 16 日～12 月 30 日
  - ・ FM-HI! 夏休みこども安全キャンペーン  
7 月 17 日～8 月 31 日
- その他啓発用防犯資器材等
  - ・ 防犯手帳 2,160 冊
  - ・ 防犯カレンダー2020(全防連) 50 冊
  - ・ 防犯ホイッスル（日本マクドナルド社寄贈） 36,500 個
  - ・ 暴力団撃退マニュアル 1,000 個
  - ・ 地域交流会での防犯広報グッズ（オリジナルケース） 660 本
  - ・ こどもの犯罪被害防止啓発品（静岡県自動車整備振興会寄贈）  
5,000 セット
  - ・ 路線バス車内放送（振り込め詐欺被害防止）  
1 日 2,066 回・1 年間
  - ・ 電車車内放送（振り込め詐欺被害防止）  
1 日 313 回・1 年間
  - ・ 大相撲浜松場所での懸賞幕及び場内アナウンス  
（振り込め詐欺防止） 1 回
  - ・ 大型デジタルビジョンを活用しての「特殊詐欺被害防止動画」  
の放映（3 月 1 日～3 月 31 日）  
1 日につき 120 回放映

#### イ 地域安全活動の推進

「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに地域住民、自治体、関係機関・団体及び警察と連携して次のとおり各種地域安全活動を推進した。

- 全国地域安全運動

10月11日から同月20日までの10日間、子供と女性に対する犯罪、特殊詐欺、乗り物盗、万引きの被害防止を重点とした地域安全運動を県下全域で展開した。

○ 地域安全のつどい

10月11日、静岡市内「あざれあ」において、県警幹部、協会役員、防犯指導員、地域安全推進員等300人が参加して、「令和元年度地域安全のつどい」を開催し、第1部では防犯栄誉金章等の受賞披露、防犯栄誉銀章等の表彰伝達及び地域安全・非行防止活動等の表彰贈呈の式典が行われ、第2部では、そうさ亭にか奴三助（渡邊晃人）氏による講演落語や県警音楽隊による演奏を聴講した。

○ 年末特別警戒

12月15日から31日までの間、県警察と共催で年末特別警戒を実施した。

特別警戒では、立看板用ポスターを作成し、各地区防犯協会に配布して、警察署、交番・駐在所、金融機関、コンビニ、パチンコ店、事業所等に掲出したほか、JR静岡駅地下道、呉服町名店街に横断幕、静岡駅パルシェに大型懸垂幕を掲出して広報啓発活動を行った。

またこの間、本年度から、SBSラジオで特殊詐欺防止のための警戒広報20本を放送した。

ウ 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進

県民の身近で発生し不安感を与えている犯罪抑止対策（地区防犯協会の活動も含む）として、次のとおり諸対策を推進した。

○ 街頭犯罪抑止対策

- ・ 自動車盗難防止及び車上ねらい抑止対策
- ・ 自転車盗難防止対策
- ・ ひったくり防止対策
- ・ 万引き防止対策

○ 住宅対象侵入犯罪防止対策

- ・ 体験型防犯教室
- ・ 防犯診断
- ・ 防犯モデルマンションの普及

○ 子供・女性を犯罪から守るための施策

- ・ 子供安全情報の提供
- ・ 痴漢被害防止対策
- ・ 体験型防犯教室
- ・ 新入学児童対策

- 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺被害防止対策
  - ・ 参加・体験型防犯教室の開催
  - ・ オレオレ詐欺被害発生ゼロの日の広報啓発
  - ・ チラシ、ポスター、啓発品（マグネット）等の作成・配付
  - ・ 路線バス、電車内での車内広報
  - ・ SBSラジオによる警戒放送
  - ・ 静岡市内の大型デジタルビジョン等での広報啓発動画の放映

(7) 防犯施設及び防犯資器材の普及

各地区防犯協会が開催した「防犯教室」等において、防犯性能の高い建物部品等の展示に併せ防犯モデルマンション等の普及広報を行った。

(8) 防犯対策の調査研究

関係防犯団体や自治体と連携して、防犯対策について情報交換を積極的に実施するなど調査研究を推進した。

また、事業活動を効果的に推進するため、犯罪統計、犯罪発生傾向・特徴、地域安全活動に関する資料等を作成して、地区防犯協会をはじめ県民に広く広報資料として提供した。

## 2 自転車等防犯登録事業等

(1) 自転車等の防犯登録事業

ア 『自転車防犯登録事業のOCR化』

平成24年度に、計画期間10年、資産取得等予定時期を令和3年度として立ち上げた防犯活動積立預金（資産名称「防犯登録証発行OCR機」）について、同預金を運用し、自転車防犯登録カードのOCR変換システムを改修した。

改修に際し、既存システムにプログラムを追加し諸機能を高度化したことで作業効率が上がるとともに、これまで手集計していた在庫管理が自動読み取り可能となり、登録事業が飛躍的に迅速正確となった。

また、本システムのバックアップシステム等も完備したことから、安全性も確保した。

イ 自転車防犯登録の推進

自転車法に基づく自転車防犯登録業務を適正に推進した。

令和元年度は、量販店等484店舗の「自転車防犯登録所」に対して、登録標105,000枚を送付し、このうち自転車防犯登録所で自転車利用者が防犯登録した130,000台の「自転車防犯登録標」を受け付け、点検、修正



及び必要事項の記載を行った上、電磁的記録を作成し、県警察本部に送付した。

また、自転車利用者は、いわゆる自転車法第12条第3項により自転車の防犯登録が義務化されていることから、指定の「自転車防犯登録所」に対し、自転車利用者の完全登録と登録業務の迅速的確な処理について、量販店等に就職している警察OBを介して協力を依頼したほか、巡回指導、電話による指導警告を行い、法の適正な運用に努めた。

#### ウ 照会業務の適正な推進

盗難、遺失、放置自転車の早期発見・処理のため、自転車利用者や防犯登録所及び県警察からの各照会に対し、迅速的確に処理した。

### (2) 自転車盗難防止対策の広報啓発活動

静岡県自転車軽自動車商業協同組合や各地区防犯協会等と連携し、自転車の防犯登録の完全実施や「ツーロック」の完全実施について、学校、大型スーパー、駐輪場に対して重点的に広報啓発活動を推進した。

特に、自転車盗難や車上ねらい、オートバイのキー付き被害が依然として高いことから、チラシ等を作成・配布するなど防犯意識の高揚、確実な鍵掛け運動を推進した。

## 3 防犯モデルマンション・タウン認定（指定）事業

### (1) 防犯モデルマンションの認定及び普及

犯罪の防止に配慮した構造、設備を有する「防犯モデルマンション認定事業」については、県警察及び業務委託先である一般社団法人静岡県都市開発協会と連携して、「ホームページ」等において普及活動を実施した。

令和元年度は、23件（新規7件、更新16件）を認定している。

これら申請のあったマンションにあつては、書面、現場審査を行い「防犯モデルマンション」として認定した。

### (2) 防犯モデルタウンの指定と普及

県警察と連携し、ホームページ等を活用して犯罪に強い住宅と防犯面に配慮した地域環境設計の分譲住宅団地の「防犯モデルタウン」の広報普及活動を推進した。

## 4 風俗営業所等の管理者講習、構造・設備等の調査及び風俗環境浄化に関する事業

県公安委員会から風営適正化法第39条に基づく「静岡県風俗環境浄化協会」

として指定を受けて、次の事業を行った。

(1) 風俗営業所等の管理者を対象とした講習会の実施

風営法に基づく、風俗営業所等の管理者に対する法定講習を県警察と連携して、静岡県総合社会福祉会館他県内各地の会場において、25回延べ765人に対する講習を行った。

(2) 風俗営業所等現地調査

風営法に基づく、風俗営業等の許可申請や構造・設備の変更承認申請に関し、営業所に対し、構造設備の技術上の基準及び営業地域の規制に関する現地調査195件を行った。

内訳は、許可177件、承認18件であった。

(3) 環境浄化活動の推進

風俗営業所等の管理者講習会や現地調査を通じて関係者に対し、環境浄化活動について指導するとともに、広報啓発品を管理者講習会において配布し、広報活動を行った。

(4) 風俗環境に関する苦情の処理

地域住民及び風俗業者から風俗環境に関する苦情3件が寄せられ、これを適正に処理した。

## 第2 組織運営

### 1 会計及び業務監査等の実施

- (1) 平成31年4月22日、税理士鈴木剛による平成30年度収入支出決算について調査を受けた。
- (2) 平成31年4月25日、杉本茂監事・中出泰夫監事による平成30年度の会計及び業務の執行についての監査を受けた。
- (3) 令和元年5月21日、県警察本部による業務及び財産に関する検査を受けた。
- (4) 令和元年11月22日、県及び県警察本部による業務及び財産に関する立入検査を受けた。

### 2 理事会の開催

- (1) 令和元年5月9日、静岡市葵区所在「グランディエールブケトーカイ」において理事会を開催し、
  - 令和元年度社員総会の招集（案）
  - 平成30年度事業報告（案）
  - 平成30年度決算報告（案）
  - 正会員会費の改定（案）

- 正会員の入会（案）
  - 専務理事辞任に伴う理事の選任（案）
  - 理事の報酬及び退職手当の額（案）
  - 賛助会員(団体)の退会及び賛助会員(個人)の会員資格の喪失(案)について審議し、全会一致で議決した。
- (2) 平成元年6月5日、静岡市葵区所在「グランディエールブケトーカイ」において理事会を開催し、
- 業務執行理事の選定（案）
- について審議し、全会一致で議決した。
- (3) 令和2年3月3日、静岡市葵区所在「グランディエールブケトーカイ」において理事会を開催し、
- 令和2年度事業計画（案）
  - 令和2年度収支予算（案）
- について審議し、全会一致で議決した。

### 3 社員総会の開催

令和元年6月5日、静岡市葵区所在「グランディエールブケトーカイ」において令和元年度社員総会を開催し、

- 平成30年度決算報告（案）
  - 正会員会費の改定（案）
  - 専務理事辞任に伴う理事の選任（案）
  - 理事の報酬及び退職手当の額（案）
- について審議し、全会一致で議決した。

### 4 関係機関・団体との連携

公益財団法人全国防犯協会連合会、関東防犯協会連絡協議会、各地区防犯協会、その他関係機関団体等と積極的に連携の強化を図った。

### 5 財政基盤の確立

賛助会員を拡大するため、広く募集活動を実施した。